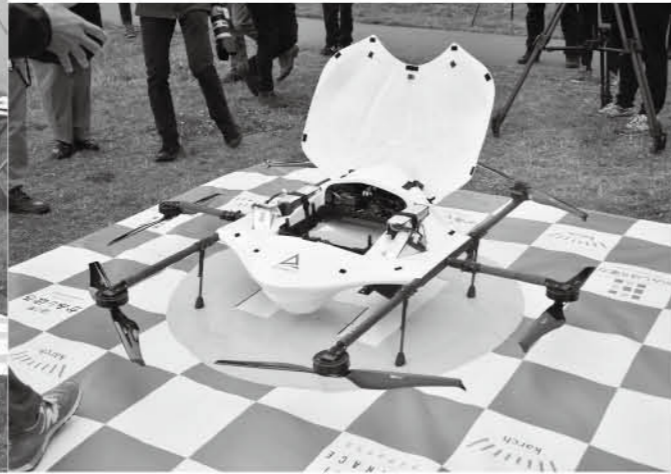




全国初!

## ドローンを活用した 配送の実証実験

10月6日にドローンを活用した商品配送の実証実験が行われました。午前、ナイタイ高原で、麓からナイタイテラス横に設置された特別会場への配送、午後からは上音更コミュニティセンターから、上音更に住む大道さんのお宅へ商品をドローンで配送しました。ドローンによる自宅への配送実験は全国初の試みです。



## 9月・10月の まちのわだい



## 町民マラソン大会

10月9日、町民マラソン大会が開催され、幼児から大人まで112人が参加し、好タイムを目指し秋の航空公園でさわやかな汗を流しました。



## 認定こども園 うんどうかい

10月2日、認定こども園うんどうかいが開催されました。子どもたちは元気いっぱい練習の成果を披露しました。





## 10/10 ドローンの操縦を体験 ドローン教室

10月9日・10日に上音更コミュニティセンターでドローン教室が開催され、2日間計22名の小中学生がドローンについて学びました。

教室の前半ではドローンを飛ばす際のルールや、ドローンのさまざまな使い道などについて学び、教室後半では、旧上音更小学校の体育館で、実際にドローンの操縦を体験しました。

参加者は「ドローンの前後がわかりにくく、難しいと思ったが、やってみるとできた」と話しました。

## 9/29 アイヌ文化を学ぶ 伝統的な唄や踊りを体験

上士幌小学校6年生を対象にアイヌ文化について学ぶ授業が行われました。当日は帯広カムイトウウポポ保存会会長の酒井さんをお招きし、アイヌ語や文化について学びました。

授業の終盤ではアイヌの伝統的な唄と踊りを体験し、今後練習して学年発表会で披露する予定です。

現在上士幌小学校では、校内にアイヌの衣装や楽器、日用品を展示するなど、アイヌ文化に触れるさまざまな取り組みを行っています。



## 10/3 町内で清掃活動 商工会青年部絆感謝運動

商工会青年部の全国統一事業「絆感謝運動」を実施し、町内の清掃活動を行いました。

当日は商工会青年部をはじめ、商工会女性部やOB会など約40名が参加し国道や航空公園付近などの清掃を行いました。

商工会青年部二瓶部長は「今回、けがや事故無く、多くのごみを集めることができました。ごみを拾うことも大切だが、捨てることを防ぐ方法も必要」と話しました。



## 10/5 高校生・社会人と対戦 新津さん全道大会出場

10月8日から函館市で開催される、2021年度北海道卓球選手権大会に出場する、上士幌中学校女子卓球部2年生の新津愛理さんが教育長を訪問し、大会への意気込みを語りました。

今大会では社会人や高校生も参加する一般女子の部に出場します。

新津さんは「自分より年上の相手とも戦うことになるが、気持ちで負けず、2回戦では強い高校生と当たるので勝てるように頑張りたい」と話しました。



## 10/8 秋の空を彩りました サプライズ花火大会

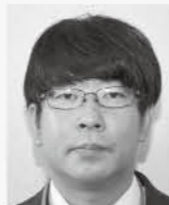
商工会青年部によるサプライズ花火大会が開催されました。昨年から続くコロナウイルスの影響により、今年もサプライズでの開催となりました。当日は午後8時から約20分、約800発の花火が打ち上げられ、秋の夜空を彩りました。

商工会青年部二瓶部長は「コロナが続き、暗い時期ではあるが、花火を見て少しでも喜んでいただければ」と話しました。



## 地域を変えていく新しい力

# 地域おこし協力隊活動報告



TITLE:最初の夏

記:映像デザイン推進員 土門 史幸

今年の6月から地域おこし協力隊として「生涯活躍のまちかみしほろ(まちづくり会社)」で映像デザイン推進員として活動している土門です。映像デザイン推進員の業務は、上士幌町のイベントや観光資源の写真撮影、PR動画の撮影編集など広報を主としています。

赴任してからの3か月で特に印象に残っていることは、MYMICHYプログラムの撮影をしたことです。MYMICHYプログラムは全国の20~30歳代の若者を対象に上士幌町の資源を活用し、仲間とともに「遊ぶ・学ぶ・働く」ことを通して「自分らしく生きる」ことを感じる1か月間の滞在型体験プログラムです。

2021年7月~8月に第4期が開催され、全国から5人の若者が参加しました。このプログラムに密着し、参加した各々が自分と向き合いながら成長していく様子を写真や動画に収めました。その中で感じたことは参加者が、泣き、笑い、困難に立ち向かっていく姿は見ているこちらにも勇気を与えてくれて、自分も全力で物事に向き合おうという気持ちにさせてくれたことです。

このMYMICHY 4期の様子はいれずれどこかで発表したいと考えています。また、この他に写真や動画を通じて町や町民の皆さんと関わりたいと思い色々と考えているのでその時を楽しみにしていただけると嬉しいです。





## 働きがいも経済成長も

すべての人のための持続的、包括的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）を推進する

### 現状と達成すべき課題

世界人口の約半数は、1日あたり約2ドル(約220円)相当の金額で暮らしており、たとえ仕事があっても貧困から逃れられない状況が多く、多くの場所で生じています。特に、女性や移民、障がいのある人など社会的に立場の弱い人は、不当な賃金や過酷な労働環境を強いられることがあります。一方、日本では、諸外国と比べ労働時間が長いことが課題となっています。

そのため、本目標では、誰かの生活を犠牲にした経済成長ではなく、すべての人が働きがいのある人間らしい仕事を得られ、不当のない経済・社会の仕組みを目指しています。

### 私たちにできること

- ・仕事とプライベートの両方が充実した「ワーク・ライフ・バランス」を心掛ける  
→上手に働き、しっかり休む！
- ・産休や育休が取りやすい職場の雰囲気づくり
- ・地元のお店で地産地消商品を買う
- ・会社内で同一労働同一賃金を支援する 等

## 若者×多様性×ジェンダー平等 SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 上士幌町SDGs推進プロジェクトチーム活動報告

緊急事態宣言発令のため、9月の会合は延期となりましたが、オンライン（Zoom）を活用し、9月14日にメンバー間でSDGsの現状や課題について勉強会を開催したほか、9月28日には、吉本興業所属芸人「フランポネ」と「藤田ゆみ」さんを講師として、お笑いを通じた普及啓発の可能性を検証するSDGs漫才体験を行いました。

緊急事態宣言が解除された10月6日には、第2回プロジェクトチームを開催し、上士幌の満足度や課題などについて話あったほか、まちの人やモノ、こと・イベントなどの魅力を挙げ、地図にマッピングするなど、まちの資源や課題などの洗い出しを行い、今後制作する普及啓発資材及びSDGsツアーの造成に活かしていくこととしています。



かみしほろの未来を創る

## みんなでSDGs 持続可能な開発目標

### 今日からできる！世界を変える一人ひとりの取り組み特集

上士幌町では、これまで行ってきた取り組みをさらに深化させることで、まちの価値を高めていこうと、SDGsの視点を取り入れたまちづくりを積極的に進めています。

SDGsの達成に向けては、国や自治体、企業、団体だけでなく、誰より私たち一人ひとりの取り組みが重要になります。そのため、町民の皆さまにSDGsを身近に感じていただけるよう、広報10月号から私たちが日常生活においてできる取り組みを紹介しています。できることからSDGsに取り組んでみませんか。



## 安全な水とトイレを世界中に

すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する

### 現状と達成すべき課題

きれいな水は、私たちの暮らしには欠かせません。しかし、劣悪な経済情勢やインフラの不備により、世界人口の40%を超える人々が水不足の影響を受け、毎年数百万人が不適切な給水、衛生施設、衛生状態に関連する病気で命を落としています。日本では、安全な水が出る水道があり、公共施設などでも清潔なトイレが整備されていますが、このような国は数えるほどしかありません。

そのため、本目標では、すべての人が安全な水源と衛生施設を利用できるようにすることを目指しています。

### 私たちにできること

- ・洗剤などを使う量を減らす
- ・風呂の残り湯で洗濯する
- ・洗い物や洗濯は、まとめて回数を少なくする
- ・シャワーや水道をこまめに止める
- ・公衆トイレをきれいに使う
- ・河川のごみ拾いなど、まちの清掃活動に参加する
- ・ゴミのポイ捨てをしない 等



## エネルギーをみんなにそしてクリーンに

すべての人に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する

### 現状と達成すべき課題

私たちの生活は、電気やガスなどの近代的エネルギーに支えられています。しかし、世界では10億人以上の人がいまだに電気を使えない暮らしをしています。一方で、すべての人が近代的エネルギーを使用するには大量のエネルギーを作り出す必要があり、その結果、CO2が増大し、温暖化や気候変動がますます深刻になる恐れがあります。

そのため、本目標では、環境負荷の少ない再生可能エネルギーを積極的に導入するなど、持続可能な近代的エネルギーをすべての人が利用できるようにすることを目指しています。

### 私たちにできること

- ・こまめな節電を心掛ける
- ・クールビズ、ウォームビズを推進する
- ・LED電球に変える
- ・冷蔵庫の中は詰め込みすぎない
- ・通勤や通学は、徒歩や自転車、公共交通機関を利用
- ・電気自動車などエコカーに乗る
- ・太陽光発電を導入する 等

短歌

朝のドラマ終ると同時にや、おくれきみ現われて忙ぎゆきたり  
 「結婚しよう」唄は朝よりながれきて空あを青と輝きるたり  
 いのちかけ咲きたる花のいとおしき朽ちゆく先にことば告げおり  
 来たる冬予感をさせる雪虫の飛ぶを見かけて散歩する午後  
 一人身の暮らしにも慣れ母の居ぬ家を守りて再び秋か  
 厨よりふと見付けたり我が前の畑に六羽の丹頂鶴居し  
 わが家の戸口に立てば秋風の落葉まい上げ吹き付け来たり  
 お下がりを次の人へとパトンスお下がりが広場次は来年  
 黄葉の白樺並木を自転車に買物帰りの秋風涼し  
 宣言の解除されてもわっかの中通る人なく寂しい秋よ  
 秋風の強くふく朝今日もまた車にのりて清掃に行く  
 野ぶどうの葉の赤くなり秋風に強く吹かれてちぎれんばかり  
 秋の味梨、柿、果物いろいろと楽しみ居たり今日は梨買う  
 色褪せし紫陽花の花そのままにわが庭冬の気配深まる

令和3年 9 月末現在の人口

男性	2,431人(+2人)
女性	2,523人(-1人)
人口	4,954人(+1人)
世帯数	2,610世帯(±0世帯)

令和3年度ふるさと納税寄付金

9 月分	7,008 件 107,264,000 円
累計	27,353 件 415,869,000 円

※全国より本町に篤志寄付の応援をしていただき心より感謝を申し上げます。  
 ※10月12日現在

上士幌町民憲章

- 1 心もからだもきたえ、すこやかな人になりましょう。
- 1 おたがいに立場を理解しあい、楽しい家庭をつくりましょう。
- 1 きまりを正しく守り、明るい社会をつくりましょう。
- 1 自然を愛し、美しく住みよいまちにそだてましょう。
- 1 文化をたかめ、豊かな郷土を築きましょう。

石高 高小 米中 中鈴 松瀬 米尾 本  
 川橋 木松 森村 濱木 田戸 森野 間  
 裕博 誠義 真仁 夏理 洋博 よし 乗  
 子明 也実 弓志 希豊 恵明 樹乃 風



◎9日・10日にドローン教室が旧上音更小学校体育館で開催されました。上音更小学校は2010年の閉校以来、久しぶりに子どもたちが体育館に戻ってきました。私がまだ小学生の頃は、上小含め町内に小学校が7校あり、スケート大会などで他校の生徒にライバル意識を燃やしたことを覚えています…Y  
 ◎最近、ステーキにはまっています。薄切り肉や加工したお肉ではなく、分厚い肉塊をガシガシと噛み切っていると、失われた野生が僅かに戻ってくる感じがするのです。何かのニュースで見たのですが、先日亡くなられた漫画家さんという・たかおさんも70代後半まで毎朝ステーキを食べていたそうです。毎朝とは、なんとという健康家でしょう。素敵(ステーキ)ですね。…T

広報 かがみしほろ 12月号は11月25日(木) 発行予定

TITLE:就活希望者の本番が始まっています

9月16日(木)に高校生の就職試験が解禁となり、3年生の就職希望者がこの日から就職試験に臨むこととなりました。本校では14名の生徒が就職を希望しており、そのうち10名ほどが高卒求人を活用し、試験に臨む予定になっております。既に、就職試験に臨み内定をいただいた生徒も若干名おりますが、生徒の面接に向けての練習や履歴書書きに取り組んでいる姿は、正に真剣そのものであり応援したくなる表情をしております。

中には、履歴書の下書きを何度も何度もやり直しをするよう指導を受けている生徒もおりますが、諦めずに放課後遅くまで一生懸命に取り組んでおります。今年も就職希望者全員が希望する会社に内定することを願ってやみません。



△礼法指導の講師に型を直されています(9月2日)



△お互いの礼法を見て体得することも(9月2日)



△企業経営者を招いて実践的な面接練習です(10月9日)

上士幌高校新聞局通信



全道大会の運営で3日間頑張りました

文責 渡邊 このみ

10月6日(水)から8日(金)にかけて第65回全道高等学校新聞研究大会が行われ、十勝支部が当番地区になっていたため、私たちは速報班として芽室高校さん・帯広北高校さんとチームを組み、速報版の新聞を計22号発行しました。

今回は、芽室高校さんのやり方に合わせ、手書きで作成したため最初は作成法がわからず戸惑ってばかりでした。結局は記事作成が上士幌、取材が全員、レイアウトが芽室高校さんとなんとなく役割分担がされて進んでいきました。私は初めてのスクリーントーン貼りに後輩たちとテンションが上がってしまいました。

今回の経験を活かし、来年は上士幌高校が支部大会の当番校のためスムーズに運営ができるようにしたいと思います。



△速報編集の上高局員(真ん中が私です)



△できあがった速報は次々と持って行ってもらえます



△新聞コンクールでは奨励賞をいただきました